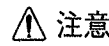


ドロップマンホールキット 6 型

安全に使うための表示

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから、本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

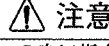
表示の説明

表示	表示の意味
 注意	“誤った取扱いをすると人が障害※1)を負う可能性、または物的損害※2)のみが発生する可能性があること”を示します。

※1) 障害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさす。
 ※2) 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさす。

図記号の説明

図記号	図記号の意味
	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	強制(必ずすること)を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

 注意	
 禁止	組立時、Tバーの穴に指を入れないでください。 指をけがする恐れがあります。
 強制	設置の時、落下防止用ポールを固定するノブを確実に締めてください。 作業中にドロップマンホールキットが落下し、けがをする恐れがあります。

免責事項について

- 1) 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 2) 本機器の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(データの変化・消失、事業利益損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 3) 取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。
- 4) 接続機器との組み合わせによる、誤動作などから生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。

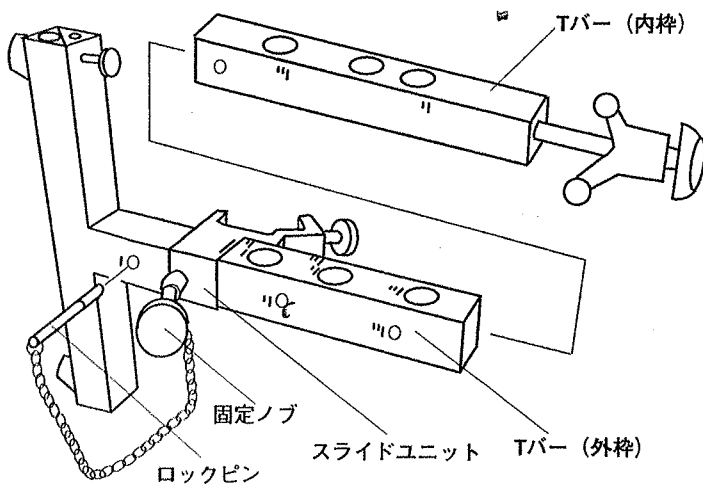
構成品名称および数量

Tバーユニット (外枠・内枠).....	1
スライドユニット.....	1
トリベットポール.....	1
センターポール	
全長426mm (特殊楕円人孔・1号人孔用).....	1
全長351mm (0号人孔用).....	1
落下防止用ポール.....	1
センターポールホルダー.....	1
トリベットハンドル.....	1
シフト装置.....	1
収納袋.....	1

組立・設置方法

AKT/O アフティオ

1. Tバー (外枠) にスライドユニットを所定の位置 (下記A～C参照) に取り付け、固定ノブを締めます。
2. Tバー (内枠) をTバー (外枠) の所定の位置 (下記A～C参照) まで入れて、抜け防止用のロックピンを通し、ピンの先端を折り曲げます。



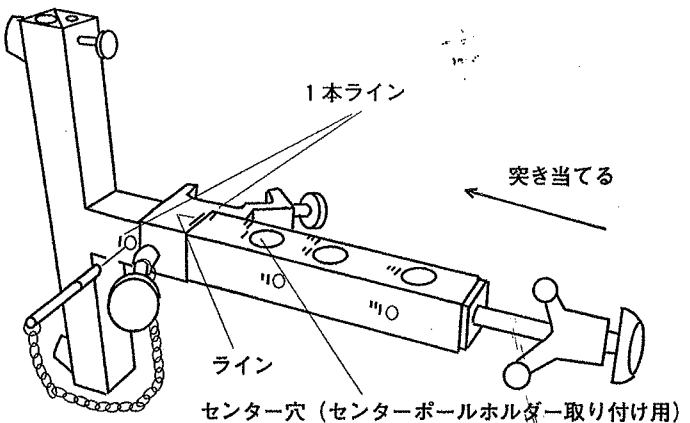
スライドユニットおよびTバーの取り付け位置

下記のマンホールの種類 (A～C) に合わせて組み立てを行ってください。

A 特殊楕円人孔 (内径600mm×900mm)

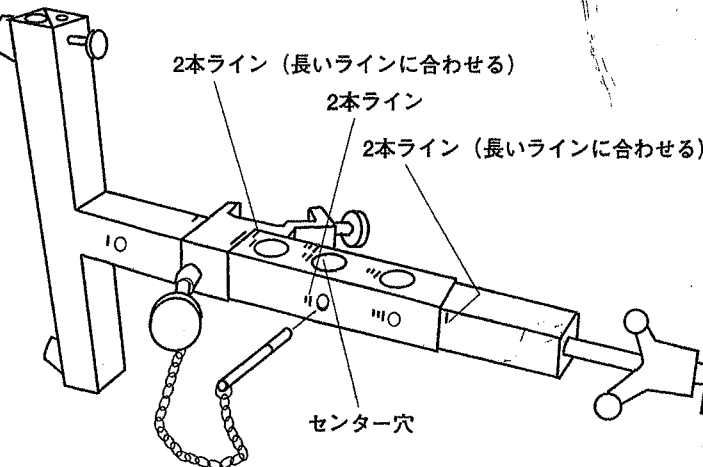
スライドユニットの端 (ラインがある方) をTバー (外枠) の1本ラインに合わせます。

Tバー (内枠) をTバー (外枠) の中に突き当たるまで入れます。ロックピンをTバー (外枠) の1本ラインの穴に通します。



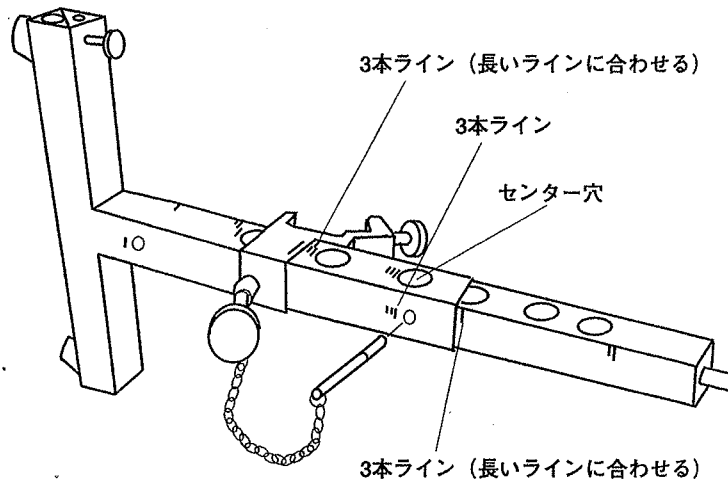
B 0号人孔 (内径750mm)

スライドユニットの端をTバー (外枠) の2本ラインに合わせます。Tバー (外枠) の端をTバー (内枠) の2本ラインに合わせます。ロックピンをTバー (外枠) の2本ラインの穴に通します。



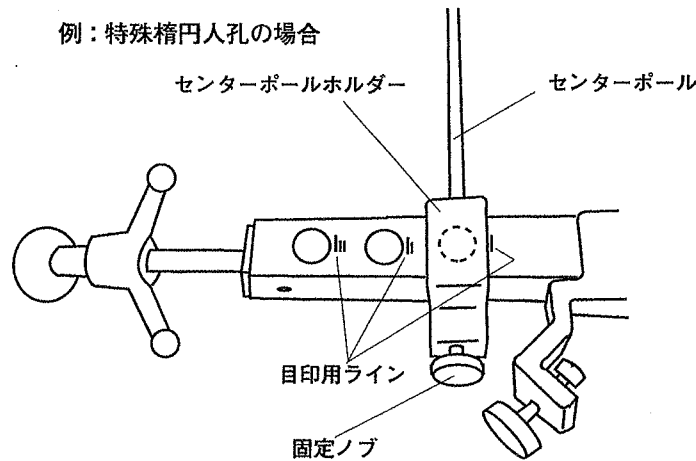
C 1号人孔 (内径900mm)

スライドユニットの端をTバー (外枠) の3本ラインに合わせます。Tバー (外枠) の端をTバー (内枠) の3本ラインに合わせます。ロックピンをTバー (外枠) の3本ラインの穴に通します。

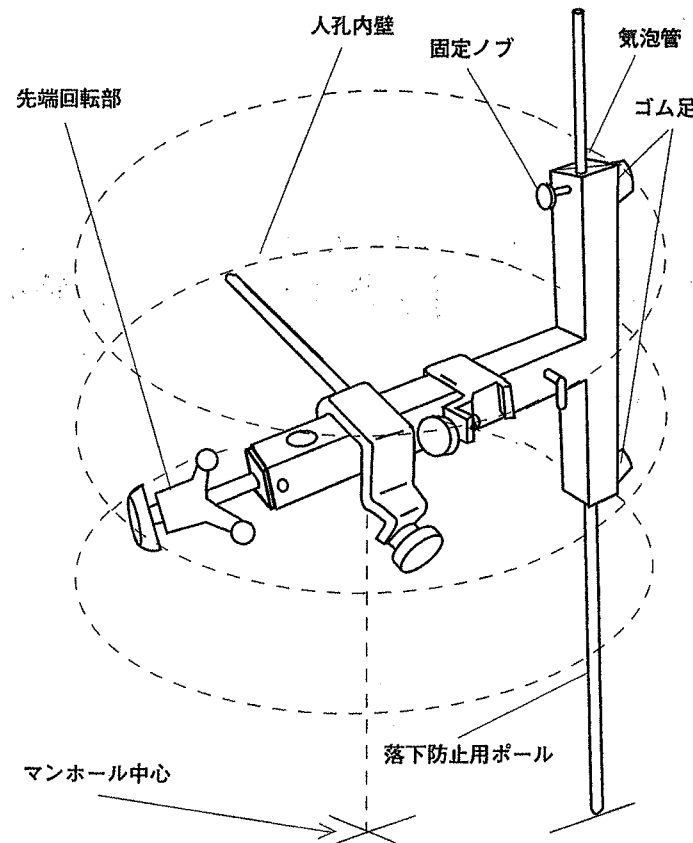


3. それぞれの人孔用のセンターポールを取り付けたセンターポールホルダーを、Tバーユニットのセンター穴 (位置の目印については2.と同じ) に合わせて取り付け、固定ノブを締めます。

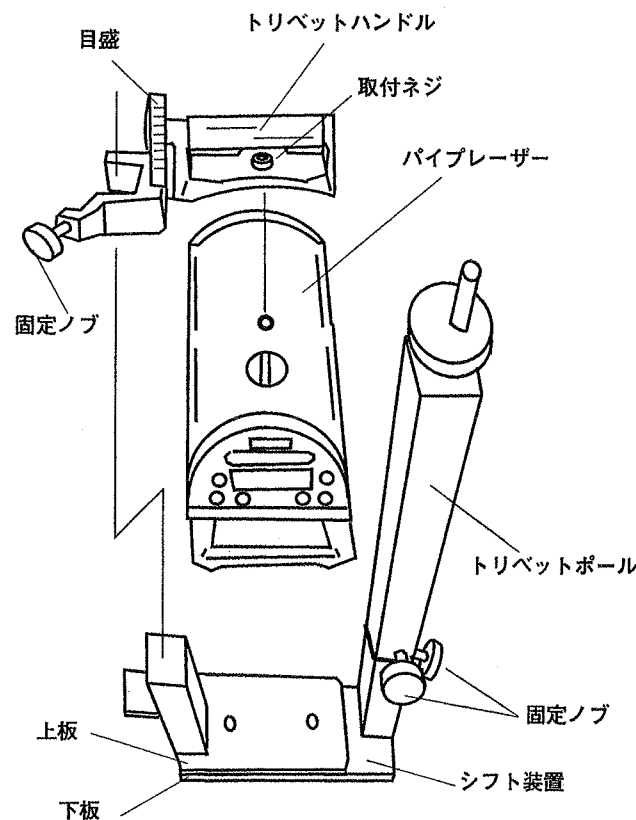
例：特殊楕円人孔の場合



4. Tバーユニットに落下防止用ポールを通し、固定ノブを締めます。このとき、ポールの下端が人孔底面に当たるようにしておきます。
5. センターポールとゴム足 (2箇所) を人孔内壁に突き当てながら、Tバーの先端回転部を回して人孔内壁に固定します。このとき、気泡管の泡が円形ライン内に入るようにして水平に設置します。(Tバーのセンター穴がほぼマンホールの中心付近の位置となります。) 設置完了後、センターポールホルダーを取り外します。



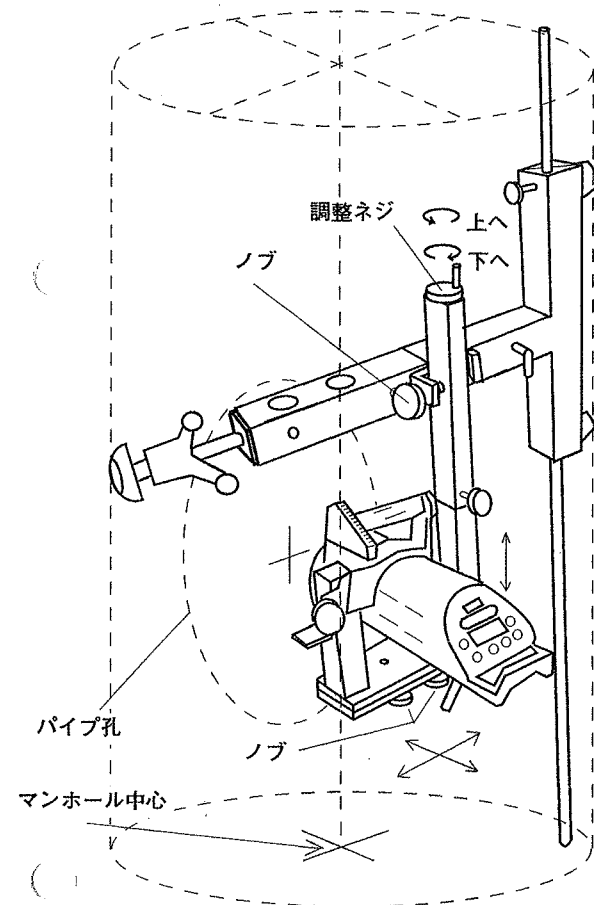
6. トリベットハンドルをパイプレーザ本体に取付ネジにて取り付けます。トリベットハンドルの目盛をゼロに合わせておきます。
7. シフト装置にトリベットポールを取り付け、固定ノブ (2箇所) を締めます。このとき、シフト装置は下図のように上板と下板の面を合わせておきます。
8. 6. で組み立てた、トリベットハンドル付パイプレーザをシフト装置に取り付け、固定ノブにて固定します。



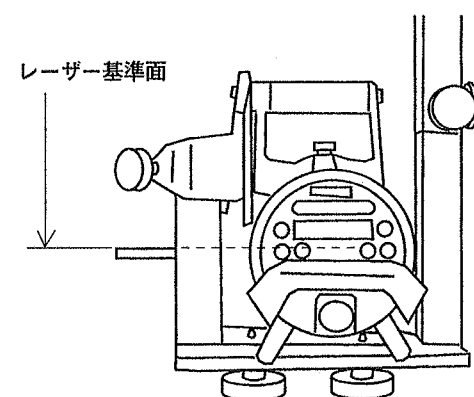
9.8.で組み立てた、シフト装置+パイプレーザーを人孔内壁に設置されたTバーユニットに取り付け、ノブにて固定します。

10.マンホール中心と下ビーム中心が合うように (B/BGについてはレーザーマークと錘球が合うように)、シフト装置にてパイプレーザーの位置を前後・左右方向に調整し、ノブ(2箇所)で固定します。

11.トリベットボールの調整ネジによりパイプの高さに合わせてパイプレーザーの位置を上下方向に調整します。
調整ネジによる上下方向の可動範囲は、0～70mmで、1回転で1.5mm可動します。

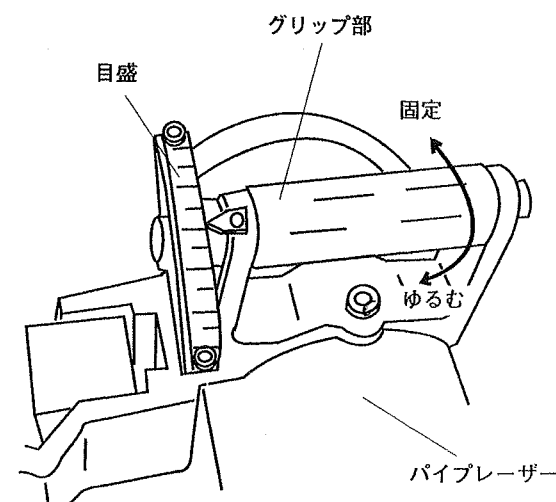


レーザー光の高さは下図のレーザー光基準面と同じになります。この面に標尺をのせることにより、高さ方向の位置の確認が行えます。



12.パイプレーザーに勾配を入力します。

13.トリベットハンドルのグリップ部を回してゆるめパイプレーザーを傾け、目盛を**12.**にて入力した勾配に概略合わせます。
グリップ部を反対方向に回して固定させます。



設置は完了しました。測定を行ってください。

株式会社トフコン

本社 測量機器営業部 〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1 TEL(03)3558-2511 FAX(03)3966-4401
株式会社 東北トフコン販売 〒990-0023 山形市松波1-10-28 TEL(0236)22-5308 FAX(0236)22-5331
株式会社 東京トフコン販売 〒175-0082 東京都板橋区高島平1-83-1 (西台NCビル3F) ... TEL(03)5920-5021 FAX(03)5920-5028
株式会社 中部トフコン販売 〒468-0064 名古屋市中白区道明町190 TEL(052)837-7581 FAX(052)837-7443
株式会社 関西トフコン販売 〒550-0013 大阪市西区新町1-5-7 (四ツ橋ビル9F) TEL(06) 531-4388 FAX(06) 531-0464
株式会社 九州トフコン販売 〒812-0008 福岡市博多区上牟田1-3-8 TEL(092)432-7285 FAX(092)432-7317
札幌営業所 〒060-0807 札幌市北区北7条西7-1-30 (リッチ7・7ビル4F) TEL(011)726-7051 FAX(011)726-7054
広島営業所 〒730-0031 広島市中区紙屋町1-2-22 (広電ビル8F) TEL(082)247-1647 FAX(082)247-1648